



付き合い同棲

いつの間にか一緒にいたね

自然に二人の間溶け込み笑い合いそんな空間。

仕事は早く終わらせて本気で走った帰り道。

帰り着くと毛布に包って隅っこに座ってた。

何か孤独なキミが目ひに映った。

何を考えてたの？

.

転勤

転勤が決まった。

ついて行くと言うことの意味。

アタシわからない場所、友達もそこにはいないんだよ？

それでもキミがついて来いと言うのなら

『すきだから一緒いく。』

ただそれが素直な気持ちだった。

『だってまだ付き合っ間もないんだよ？』

独り

仕事忙しいね。独りで居る時間長すぎるよ。

アタシの心は悲鳴あげてた。

自傷行為

心配かけちゃった。

ごめんねと思ったあの頃。

歪んだ心

寂しさを紛らわす術をわすれっちゃた。

気が狂いそう

歪んだアタシの心...

認めない

信じない

付き放す

だかど...

『好きです。』

キミからの

『すき。』はつきはなした。

どうして素直になれない？

いつも通りのヘラヘラしてるキミが理解できなかつたの。

裏切り、そしてその後の日々

いつかの日アタシはキミを裏切った...

1カ月くらい黙っていたら...

その間辛くて

言わなきゃ...

そんな頃からキミはアタシとの時間を大切にすうようになったね。寂しいアタシの心を埋めようとしてくれた。

言わなきゃ...

もう耐え切れない

その後の日々は光にみちてたんだ。幸せだったってこと。

告白キミの涙

幸せすぎて...伝えた

キミ『言わにゃバレんかったのに、それり独りで抱え込んで辛かったろうい...』

アタシ（辛かったまじ）

アタシとキミは声を出してなきました。

嫌われても仕方ないのにキミ」は見捨てなかった。

ごめんめ...

詩

いつの日か何かを失って胸の中にはまだ微かに光残ってた
時が流れたとしても消して消えることないでしょう
目まぐるしく足早に過ぎていったあの日々を

イマわもう...カタチすら変わってしまうけどだけど
分からない程素敵な事だっておもうんだ
この声よ...。まだ歌えるのならば
あの澄み渡る大好きな青空の下で...。
キミと優しい時の中で...。

トキ
時が経つのをとめれなくてアタシは変わらずまだあの頃の場所
迷いながらも前へもっと突き進んでは、また立ちすくんでいろう...

傷つけ許されぬキミへの過ちも
消せない傷跡も
キミのナミダも微笑みも
イマなれば壊れぬ様にと
失くさぬようにと大切に出来ると思うんだ
この涙届くだろうか
悲しい時
嬉しい時しっかりと時を刻もう
このまま2人いつ日か笑って思い出せように

今キミの隣でしか自分を感じれない
アタシだけど
何時だって優しすぎるキミがよばで笑って居てくれれば
ちゃんと胸はって明日を望むこと出来るでしょ？

この永い永い未知の上を2人歩き始めるよ
今日の日も
明日の日もきっこうして手と手繋いで遠い日の未来へよ...☆

キミとしたいこと

ディズニーランド行く。

キミと一緒にTATTOOを入れること。

キミと一緒にひ下北沢に行くこと。

キミと一緒にLIVEに行くこと。

キミと一緒にブランドの服を着ること。

詩

苦しめて傷つけた数だけアタシはイマ何ができるだろうか？
いろんな色塗り潰した分鮮やかな色を選んで何か描けるのであろうか？
想いは時にイマの自分自身まで追い越していくでしょ？
そんな時は立ち止まって振り返って立ちすくむアタシを見てほしい
そうしたらアタシは見失いしなわない様アタシの路を行くわ
だから示した『未知知るべ』
紡ぐメロディー空に優しく浮かべたら
優しい風がアタシの横をそっと吹いたときはその風にキミへのアタシの心をと届けてと託すでし
よう
付き合った2人の温もりをいつまでも近くに感じれるようにアタシのものにできるように
同じ空をお互い見上げて過ごしてきた日々を振り返ってそっと微笑んで
懐かしい心のページ
また1ページ捲って今日はとても天気が良いからこれで時間を費やそうときめた休日でした。
寂しくなる1人の夜つい思い出してしまうキミの胸を
だけどイマは1人窓から見える星空に明日の希望を願って眠りにつくのでした

詩

今キミは何を求めていますか？
それは人ですか？何か物ですか？
カタチは変わってきた二人
何か繋ぎとめるものありますか？
バラバラになってしまったのでしょうか？
それとも...
空は今日も優しく二人を受け止め広く果てしない
キミもあの空を忘れず見上げてますか？
雲は流れ度そらを素敵に飾るでしょう
夜が星と月を連れて来たよ？
冬の星空は綺麗に儂く輝くでしょ
そんな空を遠く同じように見上げてたい
どうかこの恋心消えてなくなりませんように
通りすぎる景色に願いを込めて